

民間の視点から獣害対策を広報啓発！

市民の獣害への関心を高める取組

名張鳥獣害問題連絡会

集落（地区）の概要

- 所在地：名張市赤目町
- 発足：H23（H18～活動開始）
- 刊行物：猿新聞1200部／月
- 主な加害鳥獣
ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ



●主な取組

当該団体は、獣害に危機感をもった、様々なバックグラウンドをもつ住民等の有志が集まって組織し、情報誌「猿新聞」を地域へ提供している。猿新聞は、現在1200部／月の発行で、市内15地域中6地域、約1万人の市民に回覧され、他の9地区の地区センターでは掲示による情報提供を行ない、市内全域に渡り広報活動を実施している。提供する情報は、サルの位置情報や集落ごとの出没回数、集落のえさ場価値をなくすために時期に応じた有効な防除方法、現場で実施されている有効な対策の紹介や、現場で発生している問題の解決案の提起、さらには、地域での研修会の開催など、多岐に渡っている。サルだけでなく、シカやイノシシ、アライグマなどの獣害全般をテーマに取り上げ、民間の立場から獣害対策の重要性や有効な対策を伝え、市民の獣害への関心を高める働きかけを行っている。